



土屋 武雄 議員

質問

豊富な森林資源を守る対策は

町長

需要と供給の好循環の創出だ

質問 町内の豊富な森林資源の手入れが行き届かなくなっていることについて問う。

町長 高齢化で担い手が減り、保水力や土壌維持、温室効果ガス軽減等の機能低下の原因となっている。

対策は木材生産の現場がある川上と、加工や流通を行う川中、消費者が居住する川下の需要と供給の好循環を創出していくことである。

質問 「森林環境税」(仮称)創設を踏まえた、実施主体の市町村が果たさなければならぬ森林整備計画の現状を問う。

町長 条件不利地の森林所有者による自発的な施策を期待す

るのは限界となつていくため、森林の機能維持のためには、市町村の役割を明確化し、公的主体として積極的に関与する



森林組合が進める林業推進概要図

ことが必要不可欠だ。森林整備計画への反映については、「森林環境税」(仮称)の内容がはつきりした後で盛り込む。

質問 木材需要が見込めない現状に鑑み、優良建築材の搬出目的の路網整備に留まらず、情報通信技術等活用の「森林資源みえる化」、木質チップ等木材を使い切る「カスケード利用」増進、耐震性・防火性の強い合板製造工場誘致が図れないか。あわせて、その拠点に高田小学校校舎利用の考えがないか。

町長 森林資源みえる化は検討していないが、森林組合との情報共有を図る。

カスケード利用については、本町は既に柱材等主材用とし

て出荷のほか、木質バイオマス用チップ加工、パーク堆肥等余すところなく活用している。

合板集積製造工場の誘致については、近年中に森林環境税創設が視野に入ってくる中、本町の豊富な森林資源に関心を抱く企業が出てくる可能性もあり、情報収集に努める。旧高田小学校舎活用は様々な課題があるが、検討する。

その他の質問

Uターン者親元住宅環境整備費について、不平等性排除を提言した。